

令和5年度いずみ野地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

【地域の現状】

・いずみ野地域ケアプラザは、いずみ野駅に隣接しています。駅前には商業施設や飲食店があり大変活気がある街となっています。クリニックも駅周辺には多くあり医療面でも恵まれた地域です。一方駅から離れると、買い物をするお店や病院が少なく、住宅街や農耕地が広がっています。弥生台地区は、戸建てが多く、多世代で居住している方も多い地域です。いずみ野・弥生台共にエレベーターのない集合住宅があることから、今後は高齢者の方々の、外出・通院・買い物といった移動に対する支援のニーズが多くなると考えられる地域です。包括支援センターには認知症に関する相談が多くなっています。

【今後の方向性】

- ・地域住民の方とともに、地域に必要な移動や外出支援に関する仕組みづくりをさらに進めます。
- ・地域住民の方とともに、「支え合いの仕組みづくり」を進め、生きがいに繋がるような活動を創生出来るようにします。
- ・地域の中で認知症に対する理解が進み、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりに取り組みます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・何らかの理由で外出が出来なくなった高齢者への支援、「お出かけサポーター」の活動が拡がりを見せています。居場所支援である「お出かけカフェ」も令和4年度は自主的活動へと移行して更なる発展を目指してきました。今後も活動の担い手となる方が増えて生きがいに繋がる活動となるよう支援します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・横浜市における「チームオレンジ」事業に参画し、令和4年6月から新たに若年性認知症当事者の方が集まる居場所「フレンドハーモニーの和」を立ち上げ、順調に活動の幅を広げてきました。令和6年度からご家族の方が自主的に運営できるように今年度はその準備に向けて支援していきます。また、小学生・中学生・高校生・地域の方・企業を対象に認知症サポーター養成講座等を実施して、認知症の方への理解が進むよう取り組みます。すでに認知症サポーターになられている方には「ステップアップ講座」を開催し、活動の幅が広がるようにします。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	・地域ケア会議を積極的に開催します。地域ケア会議は住み慣れた地域でいつまでも自分らしく暮らせる地域包括ケアシステムの体制づくりへの取組の一つで、高齢者個人に対する支援の会議とそれを支える地域づくりを同時に進めていく方法です。今年度も積極的に開催してその中から出てきた地域課題に取組みます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コロナ禍の中、地域の方がICTを利用したコミュニケーションが図れるようにするため、今年度も小規模単位のスマホ講座を実施します。また、日頃からスマホ等の使用方法についてアドバイスできるようにします。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・外出支援の「お出かけサポーター」は、近隣施設入居者の外出支援にも協力し活動の場が拡がりました。居場所支援の「お出かけカフェ」は3年を経て、高齢者の居場所の必要性を感じ、今年度は「ふらっとカフェ」を立ち上げ、介護予防を兼ねた活動をし参加者も定着しています。
- ・「チームオレンジ」に参画した「若年性認知症当事者の会」や当事者も参加しての「認知症サポーター養成講座」は小・中・高へと更なる充実と拡がりを見せ、令和5年度のチームオレンジ事例報告会の6事例に選ばれ発表しました。
- ・地域ケア会議は自立支援型、ネットワーク構築型を計画し、歯科医、理学療養士、管理栄養士の助言の元、地域のケアマネジャーの新たな視点に繋がっています。
- ・コロナ禍も落ち着き、地域のシニアクラブやサロンにも積極的に出向き介護予防出張講座も実施しました。
- ・自治会単位で立ち上げた支えあいの仕組みづくりに研修等で後方支援をしました。今後も継続していきます。

区からのコメント

- ・生活支援体制整備事業では、泉区アクションプランの着実な推進のため、区内生活支援コーディネーターが一丸となって取組を進められています。特に、「お出かけサポーター」の外出支援の取組は、近隣施設入居者の外出支援を行うなど活動の場が広がっています。また、居場所支援の「お出かけカフェ」に加えて、新たに「ふらっとカフェ」を立ち上げるなど、介護予防を兼ねた高齢者の居場所の充実が図られています。
- ・地域ケア会議については、自立支援型、ネットワーク構築型を積極的に開催し、医療専門職等も参加し助言するなど、地域のケアマネジャーの支援力向上にも繋がっています。
- ・認知症支援事業では、若年層に向けた「認知症サポーター養成講座」に当事者の話も取り入れるなど、若年層への認知症理解の普及啓発が効果的に行われています。次年度も引き続き、認知症の正しい理解に向けた取組の推進を期待しています。
- ・地域活動の支援については、地域の各種団体との連携強化に向け、子育て支援ネットワークの取組の拡がりに寄与するとともに、学校との連携も進んでいます。また、居場所づくりの支援とともに、民生委員とのつながりも構築しつつあります。今後も、地域課題の解決に向けた地域全体のネットワークづくりを推進してください。